

市民の声・ちまたのニュース

第12号

2018年10月21日

日本共産党根室市委員会

根室市宝林町4-203

TEL 23-6023

FAX 24-1684

チムグクルの政治こそー!

9月30日沖縄の知事選挙が行われました。ご存知の様に故翁長知事の意志を継ぎ、辺野古への米軍新基地建設反対をかかげた「オール沖縄」の候補者玉木デニー氏が猛烈な秋台風が列島を縦断する中、自・公・維・希推薦の候補に大きな差をつけて破り、当選を果たしました。またもな政治を願う多くの国民に大変な勇気と希望をもたらすものでした。その玉木デニーさんが選挙中に何度も口にしたのが「一人も取り残さない、チムグクルの政治を実現したい」という言葉でした。

チムグクルとは?

沖縄「ちむぐくろ」ちむぐくろといふのは沖縄の人が持っている思いやり「優しいさ」助け合いの精神「を表現する語です。沖縄の困った人がいたら助ける「家族のように接する」「二度面識あれば兄弟のように接する」など、心の豊かさ、優しさを表した言葉が「ちむぐくろ」(chimu-gukuro)です。



故翁長知事と玉木知事

自公政治の猛烈な圧力

自民党や公明党(前回自主投票)は、今回猛烈な組織選挙を展開、組織を総動員、政策抜きの日前投票を大々的に仕掛けました。それは、名護市市長選挙での成功の戦術そのものを知事選挙にも行ったといわれています。

政府のやり方がひどい

当初選挙戦は、保守陣営が有利かとも報道されていきました。加えて、前述のような締め付け、それを跳ねのけようと9月22日那覇市の公園で1万人の市民集会を開きます。そこに登場したの

が、翁長樹子夫人。万来の拍手で迎えられます。夫人は「今回は静かに見ていよう、県民の結論を待とう。が、日本政府のやり方があまりにもひどい。政府の権力を全て行使し私たち県民を愚弄(ぐろう)する。民意を押しつぎようとする。県民の心に1ミリも寄り添わない候補を私は譲りたくない。デニーさんを応援する、必ず勝利を勝ち取りましょう。」の訴えは多くの県民の心をとらえたのでしよう。これが勝利への大きな転機となったとも思われます。

弥・世界報(みるく中がふ)

新基地建設反対の歌手坂本龍一さんが沖縄の民謡歌手古謝美佐子(こしゃみさこ)さんと共作したのが弥勒世界報(みるく中がふ)という曲です。ユーチューブ音楽などでも楽しめます。その曲の1節「入ぬ秀(ひめ)ゆらさ 肝(かん)ちむ(ちむ)持ちぬ秀(ひめ)らさ 肝(かん)ちむ(ちむ)くくる(くる)玉(たま)ぬ命(いのち) 玉(たま)ぬ命(いのち)」というのがあるそうです。ウチナーンチュ(沖縄の人)の優しさや心の美しさは宝の命と同じ、他者の痛みに寄り添い、助け合うチムグクルの精神は今も沖縄の人々の根底に流れていると言われます。

第四次安倍内閣がこの2日発足。戦前の教育勅語今も使える「敵基地攻撃能力を持つべき」などなど…ささやかなる暴言連発の新人閣の顔ぶれ。

私たちは今こそ、沖縄の人たちの心のありよう、北海道に住む我々は、先住民族であるアイヌの人たちの心のありようやアイヌの人たちの人間と自然のあり方についてもじっくり考えさせられる今日この頃です。

久々に春国岱を探索しました

わが妻とあまり出かけなくなっていたので、これ3年余りになつたので、珍しく「春国岱でサン」草が見たい」と言うので出かけてみました。

「復活」しつつあるサン草

三十数年も前、この時期になると春国岱にはサン草(サン)草が赤く色づき見事な群落がありました。また、春から夏にかけて3〜4キロも続くハマナスの群落は、昆虫類、小さな野鳥たちの楽園にもなっていました。



春国岱 杭の傍にサン草が…

ちようどいま時期(先週)は、夏鳥と秋・冬鳥の端境期(はざかいき)なのか、春国岱の森林よりの水辺にカモの類が小さな集団でアマモでもついばんでいるのでしようか、小さな姿が見えていました。肝心のサン草は、遊歩道と水辺との間に可憐な姿を見せています。依然と比べると何十分の一ほどの面積。それでも回復しつつあるのでしようか。これも自然の摂理の一つかと思いつつ、いなながら帰途につきました。

神忠志の勝手気ままな料理教室その5

タラのムニエル(二人前)

- ①タラ(大き目)一切れにほんの少し塩コショウ(少しだけ時間を)②薄力粉が片栗粉を軽くまぶす(小麦粉ではタラの身が崩れる)③キノ「類」(舞茸がおいしかった)を適当な量を準備する
- ④②のタラをオリブオイルで最初強火で、焦げ目がつけば中火にし、少々バターを加える ⑤タラを皿に盛りつける ⑥タラを上げた残りのオイルで③のキノ「類」を炒めタラの上に盛りつける
- ⑦ミンとマヨネーズを全く適当な量をブレンドしたものを⑥の上からフレッシュする

※ミン、マヨネーズ、ヨーグルトでも…